

平成30年度 さくら市地域公共交通会議 (栃木県さくら市) (地域内フィーダー系統確保維持事業)

栃木県の市町村



地域の公共交通の現況

近年、自動車での移動が中心の生活スタイルが定着化し、公共交通の利用者の減少が著しくなっている。特に、路線バスの大半は赤字運行となっており、不採算路線の廃止が相次ぎ、また、路線維持のための補助金や廃止路線の代替交通を運行するための費用等、財政負担も増加傾向にある。

一方、少子高齢化・過疎化が急速に進展する中、高齢者をはじめとする車の運転ができない交通弱者の移動手段を確保することは、ますます重要な課題となっている。

これらの問題を踏まえ、平成21年度にさくら市地域公共交通総合連携計画を策定し、日常生活における交通弱者の移動手段の確保とそれぞれ地域のもつ特性・実情に合ったサービスの提供に向けた計画の策定及び実証実験運行を行っている。

事業の目的・必要性

地域のもつ特性・実情に合ったサービス(デマンド・区域運行)を実施・維持することで、交通空白地域が解消され、自家用車を利用できない交通弱者の移動手段が確保される。

各種市営バスから地域のもつ特性・実情に合ったサービスに移行することで、非効率な運行から脱却し、持続可能な公共交通を構築することができる。

事業の概要

市内の旧町間・市外の近隣市町間を運行する民間の路線バスを地域間幹線系統として位置付け、その路線に接続する地域内フィーダー系統として2つの乗合タクシー事業を実施している。

デマンド交通「さくら市乗合タクシー」

事業者名: さくらタクシー有限会社
 運行区域: 旧喜連川町全域
 運行日: 月曜～金曜(土日祝日、年末年始運休)
 運行時間帯: 8時～16時30分
 運行本数: 6便(予約方式)
 運行車両: 2台(ワゴン型1台、セダン型1台)+予備1台(セダン型)
 運賃: 100～300円、協賛金500円

【デマンド交通「うじいえ乗合タクシー」】

事業者名: 有限会社誠タクシー
 運行区域: 旧氏家町全域
 運行日: 月曜～金曜(土日祝日、年末年始運休)
 運行時間帯: 9時～16時30分
 運行本数: 6便(予約方式)
 運行車両: 1台+予備1台(セダン型)
 運賃: 100～300円、協賛金500円

協議会開催状況

○協議会の開催状況 2回開催

- ・第1回(平成30年4月26日)
 - ・平成29年度事業の実績報告
 - ・平成30年10月以降の本格運行の協議
 - ・平成30年度地域内フィーダー計画の協議 他
- ・第2回(平成31年1月)
 - ・平成30年度事業評価について
 - ・一般旅客自動車運送事業の事業計画の変更について

面積	125.63km ²	
人口 (H27.1.1時点)	44,901人	
	15歳未満	6,417人
	65歳以上	10,648人
高齢化率	23.78%	
世帯数	15,648世帯	

前回の事業評価結果の反映状況

- 【さくら市乗合タクシー】・広報紙・HP等による広報活動を実施した。
・より実効性の高い目標値に修正した。
- 【うじいえ乗合タクシー】・運行区域を拡大した。
・広報紙・HP等による広報活動を実施した。
・より実効性の高い目標値に修正した。

定量的な目標・効果

【目標】

- ◆さくら市乗合タクシー 1人1回乗車当たりの公費負担額: 1,000円以下
収支率: 17%以上
サービスに対する満足度: 75%以上
- ◆うじいえ乗合タクシー 1人1回乗車当たりの公費負担額: 2,200円以下
収支率: 10%以上
サービスに対する満足度: 60%以上

【効果】

乗合タクシーを維持することにより、交通空白地帯が解消され、自家用自動車を利用できない交通弱者の移動手段が確保される。



目標効果の達成状況

【結果】H29.10.1～H30.9.30

■さくら市乗合タクシー

1人1回乗車あたりの公費負担額: 1,152円
収支率: 15%
サービスに対する満足度: 47%

いずれの目標も達成できていない。その理由として、利用者数の増加率の減少が挙げられる。

■うじいえ乗合タクシー

1人1回乗車あたりの公費負担額: 1,894円
収支率: 10%
サービスに対する満足度: 39%

全域化したことにより、利用者が増え公費負担額、収支率は目標を達成した。
しかし、1便にかかる時間が長すぎるなど、満足度は低下している。

アピールポイント

- ・さくら市乗合タクシーについて、平成26年10月よりワゴン型の車両を導入し、効率的な運行に取り組んでいる。
- ・うじいえ乗合タクシーについて、平成29年10月から運行区域を旧氏家町全域に拡大し、利便性の向上を図っている。
- ・乗合タクシーから路線バスへの乗継券発行事業を実施し、公共交通全体の利便性向上に努めた。

今後の改善点

■さくら市乗合タクシー

利用者が年々減少しているため、登録はしたが利用していない方、新規の登録者の募集など広報等による利用促進に努める。

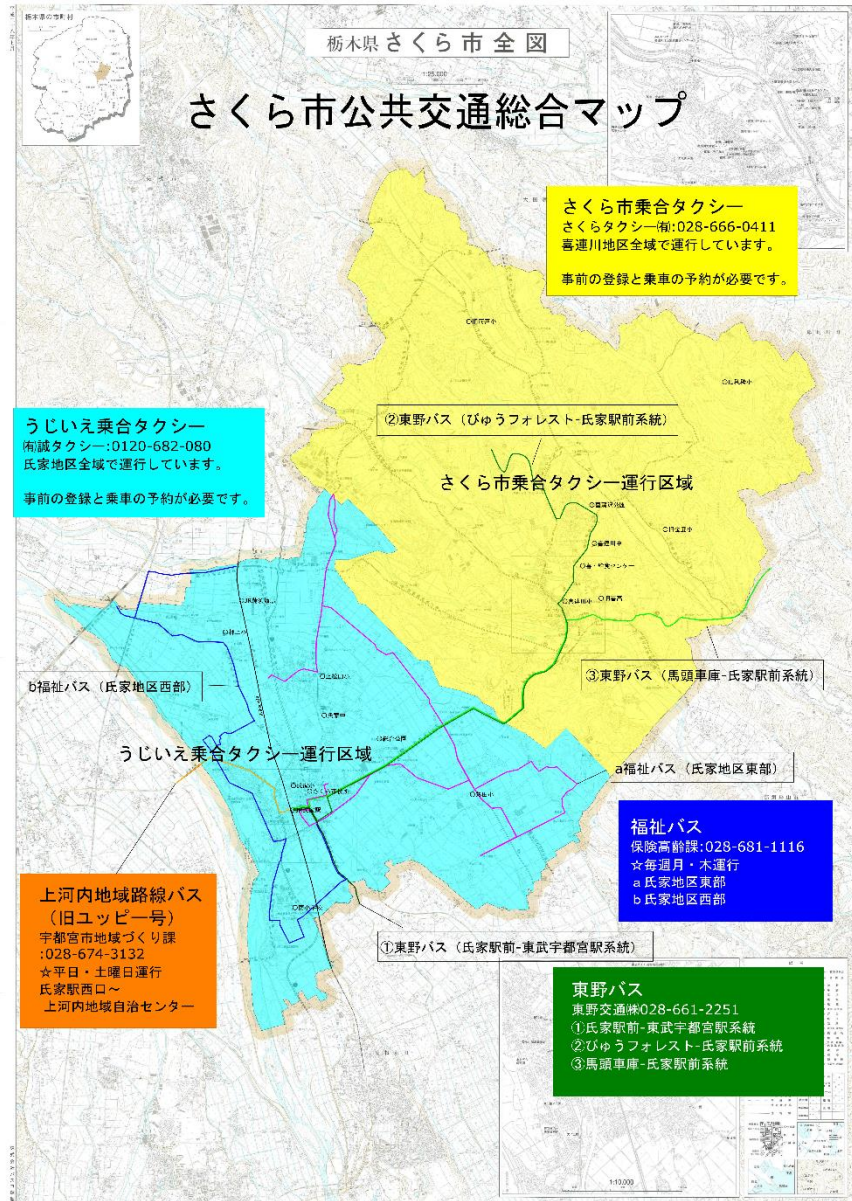
■うじいえ乗合タクシー

平成29年10月から旧氏家町の全域に運行区域を拡大した。
広報等による利用促進に努める。

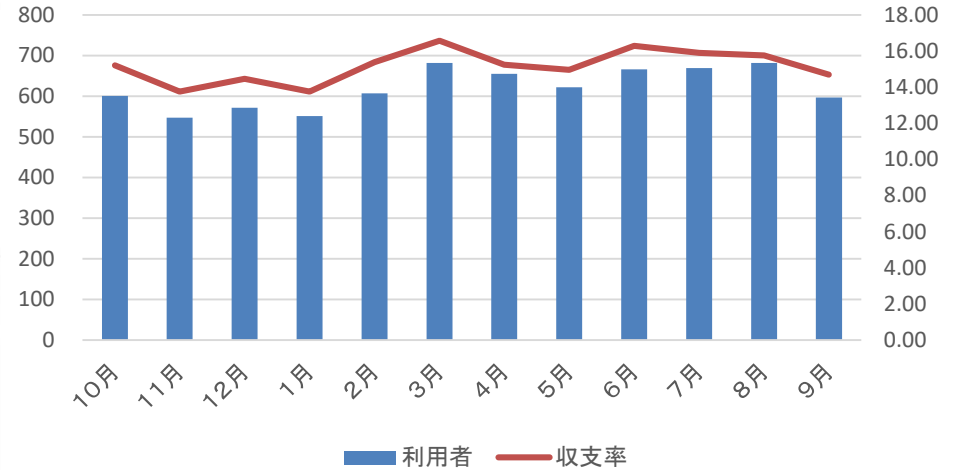
■共通

平成31年度中の地域公共交通網形成計画の策定を目指し、それに合わせ、運行形態の見直しも検討する。
喜連川地区と氏家地区の乗合タクシーによる移動手段の確保に向け、実証実験を行う。





さくら市乗合タクシー 利用者・収支率 (H29.10～H30.9)



うじいえ乗合タクシー 利用者・収支率 (H29.10～H30.9)

